

黒松内岳（740m）・ぶな滝沢右股ルート

日時：2023年9月17日（日）

天候：曇り、気温23度

メンバー：H、O、M

<山行記録>

今回は3名での山行となった。

6：30 伊達道の駅に集合。前日の予報では午後から雨の予報だったが、短い沢でピークは踏まないとのリーダー判断のもと決行することになった。

予定より少し早く登山口P場に到着。

8：35 ぶな滝から入渓。気温は23度前後で風もなく、水も冷たくはない。くの字の滝を含めて、難しくない小滝の連続が続く。5mの滝では1名がへつりでドボン。

9：35 cont 285分岐。ここから右股ルートに入る。10mの滝は先行したリーダーがロープを出して1名を確保する。もう1名は右岸を高まぐがここ数日の雨で泥壁が滑り難儀する。これ以降は小滝の連続で難しいところはない。ペロンとして手掛かりのない滝も手足のツッパリで何とか突破した。左右にうねるようなゴルジュも出てきて楽しませてくれる。

時折高度計と地図で確認するが、この沢は直登すれば尾根にたどりつくのでルート取りは難しくない。基本、本流を進めばよい。時折ピークや目指す尾根も見えてきた。次第に水量が少なくなり笹もかぶってきた。

11：20 cont 454二股を右に進み、いよいよ藪漕ぎ開始だ。10年以上前だったと思うが、前回来た時には結構なガレ場にてこずった記憶があるが、今回は笹と灌木の藪の下がここ数日の雨でぬかるんだ状態になっており、フェルト靴が滑り思うように前進できない。特に尾根に出る最後の数十メートルにはたっぷりとアルバイトをさせられた。

12：15 尾根到着。もう少し早く着くと思ったがやはり最後の藪漕ぎで時間がかかった。今日の天気では登山者もいないだろうと登山道にどっかりと腰を下ろして昼食をとった後、下山開始。途中で予定より少し早くぽつぽつと雨が来たが、合羽を着るほどではなかった。

13：35 登山口到着。我々と同時に夏道を上った10人ほどのパーティはちょうど下山したところだった。

帰りに黒松内温泉ブナの森で汗を流し、帰路に着いた。



<写真説明>

左上：入溪地点のぶな滝

右上：くの字の滝

中間：小滝の連続

左下：10mの滝は左岸をまく

右下：尾根からピークを眺める

文責：M